

— 病院とみなさまのかけ橋 —

ふれあい

CONTENTS

- 医師からのメッセージ…1
- 看護の現場から ……2
- 知つ得情報 ……3
- 職場紹介コーナー ……4
- オーラコンサート/癒しのまちへ…5
- 遊びの広場 ……6
- 情報ステーション ……7
- ふれあい箱の回答/編集後記 8

消化器内科について

医師 からの メッセージ

〈シリーズ第3回〉



副院長・消化器内科部長
豊田 澄男

私は総合青山病院で消化器内科（胃腸科）を担当しております。消化器内科とは食道から胃・十二指腸・小腸・大腸・肛門までの管腔臓器と、肝臓・胆嚢・脾臓・胰臓などを主に診ています。

この数十年間における医学医療の

進歩は著しいものがあります。消化器領域においても例外ではありません。内視鏡に関して、当時はカメラを管の先に取り付けた胃カメラから始まり、グラスファイバーバーを用いた観察可能な胃ファイバースコープが開発され、最近は先端にテレビカメラを装着してより正確に観察（診断）できるようになりました（肉眼よりも正確な観察が可能です）。機種もいろいろと開発され、通常の口からの内視鏡（G—I-F）に加えて、経鼻内視鏡も開発されました。また十二指腸、大腸、胆道あるいは脾管の観察も可能となりました。あらゆる管腔臓器に内視鏡を挿入しての診断が出来るようになり、内視鏡診断は格段の進歩を遂げました。

一方画像診断の進歩も著しいものがありました。昭和50年頃のCTは、とても胸部や腹部内臓の診断ができるようなものではありませんでした。しかし現在では腹腔内臓器の診断に欠かせないものとなっています。最近では注腸透視（肛門からバリウム等を注入して行う大腸検査）に替わり、CTで行う大腸検査が可能になりました。

私は昭和50年頃のCTは、胆管の走行や病変まで観ることがであります。超音波検査（US）やMRIも消化器科の診断や治療に欠かせないものとなりました。これらの診断用機器と共に血液検査等の進歩もありまして、最近では診断をしっかりと確定した上で、確実で効果的に病気の治療が出来るようになつてきました。

平成20年11月より新病院が開設して、新たな医療器械を導入して、より良い診断と治療が可能となりました。患者さまに出来るだけわかりやすい医療を目指して努力を続けます。今後ともよろしくお願いします。



看護の現場から。



健康管理センターより

外来看護師 渡邊 昌子

平成20年11月に総合青山病院が新設され、健康管理センターが新しく設置されたことをご存じでしょうか？正面のエスカレーターを上がった2階、リハビリテーションの向かい側にあります。

健康管理センターでは、特定健診・後期高齢者医療健診・基本健診・前立腺がん検診・結核・肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮がん検診・肝炎検査・歯周病健診・人間ドック・一般の健康診断等を行っています。乳がん検診は外科、子宮がん検診は内科4（旧婦人内科）、歯周病健診は歯科・口腔外科など専門科と協力して行っています。

がん検診・人間ドックは予約で行っていますが、がん検診の一部は予約なしでも受けることができます。しかし、待ち時間等を考えますと、予約することをお勧めします。また、特定健診や血液検査の必要な健康診断は、必ず朝の食事を抜いて受診して下さい。

特定健診について

40歳から74歳の方が対象になります。内臓脂肪型肥満をベースに高血圧・高血糖・高脂血症などの生活習慣病などが、複数重なってしまう内臓脂肪型症候群（メタボリックシンドローム）をチェックする健診です。

メタボリックシンドロームは自覚症状

はほとんどありませんが、放つておくと動脈硬化が急速に進行し、心臓病や脳卒中といった命にかかる病気を引き起こす危険があります。

特定健診を受けた後に、生活習慣の改善が必要な方には管理栄養士より特定保健指導も行われています。

特定保健指導では、健診結果をもとに、自分の健康状態を把握しながら、活き活きとした生活が送られるようサポートさせていただきます。

基本的な健診項目は、問診・診察・身体計測（身長・体重・腹囲）・血圧・血液検査（脂質・肝機能・血糖）・尿検査です。なお、医師が一定の基準に基づき必要と判断した場合は血液検査（貧血）・心電図・眼底検査が追加されることがあります。

生活習慣病を予防していくためには、定期的に健診を受け、健診結果をもとに生活習慣の改善することが、大変重要です。病気の早期発見と健康的な人生を送るために健康管理センターを利用して下さい。

健診のお知らせ

もっと健康。
ずっと元気。
1年に1度は健診を
受けましょう。

総合青山病院
健康管理センター
問合せ
0533-73-3777

<http://www.aoyama-hp.or.jp>



知つ得情報

第3回

知っているようで知らない 社会保障・福祉制度

地域医療連携室 立松 実

さまざまな社会保障・福祉制度
がありますが、皆さまはどのくらい
ご存知ですか？

身体障害者手帳、高額療養費、
介護保険など、名前は聞いたこと
はあるけれど、詳しいことはご存
知ない方が多いのではないかしょ
うか。ご自分やご家族が病気に
なったり、入院されたり、介護が
必要な状態になられたり、いざそ
ののような状況になつて、初めて関
心を持つようになられる方が多い
と思います。

しかしそれからでも遅くはあり
ません。ぜひご利用できる制度は
利用して下さい。

ただ、どんな制度があって、ど
んな患者さまが対象となつて、ど
んな時に利用できて、どこに手続
きに行けばいいのか？…いろいろ
わからぬことがあります。そんな時は「地域医療連携室」に
寄つてみて下さい。患者さまにご
利用いただける制度やその手続き
方法などをご案内しております。
主に次のような制度があります。

医療費の補助や軽減の制度

医療費の一部または全額の補助
が受けられます。

●身体障害者手帳

基準に該当する身体の障害があ
る患者さま

●高額療養費・限度額認定証

高額な医療費がかかつた患者さま

●標準負担額減額認定証

世帯の所得が非課税など、収入
が多くない患者さま

●特定疾患医療給付事業

県で指定された特定疾患の治療
を受けている患者さま

●B-C型肝炎医療給付事業

インターフェロン治療を受けら
れる患者さま

本当は対象となり、ご利用でき
るのに、制度を知らないで困られ
ている方、補助を受けられないな
い方もいらっしゃると思います。
今まで月10万円程度の入院費を
払つていたが5万円程度に減額さ
れた方、外来通院費が免除となつ
た方、働けなくなり無収入であつ
たが年金がもらえるようになつた
方、家族介護が困難となり、介護
サービスを利用出来るようになつ
た方など、手続きすることで、金
銭面・身体面において負担が軽減
されます。

ただしすべての患者さまが該当
されるわけではありません。それ
ぞの制度に病状や世帯の収入な
どの基準があり、それに該当しな
いと受けられません。

介護に関する制度

介護サービスの利用や介護施設へ
の入所など、介護者の介護負担が軽
減されます。

●介護保険

在宅サービスと施設サービスがあ
ります。

●介護保険外のサービス

配食サービス、介護タクシーなど、
市町村や民間業者で提供してい
ます。

その他にも障害年金、自立支援
医療など、さまざまな制度があり
ます。

地域医療連携室をうまく活用し
てみて下さい。今現在、困つてい
る方、今後に不安がある方、お気
軽にどうぞ。

職場紹介コーナー

VOL.3

2病棟

看護師長 坂野 晶子



今回は、私達2病棟の紹介をします。病院の3階にあつて病棟名は2病棟です。メンバーカラーは、「グリーン」で、さわやかなイメージと安らぎのある病棟です。病床数45床の循環器科、脳神経外科、神経内科、腎臓内科、眼科の混合病棟です。まずは、それぞれの科について説明します。

循環器科は、虚血性疾患や心不全・不整脈に対する治療を行っています。カテーテル検査や治療（PCI・経皮的冠動脈インタベーション）を行っており、心不全は、薬物療法（内服・点滴）が中心です。不整脈に対するベースメーラー植え込み術も行っています。

脳神経外科は、突然発症する脳障害（脳出血、頭部外傷など）や脳血管障害により、緊急に手術が必要な場合があります。診断には、各種画像検査（CT・キセノンCT・MRI）や脳血管撮影（DSA）が行われており、急性期脳梗塞の治療に対しては、t-PA治療を行っています。顔面けいれんや三叉神経痛の治療（脳神経減圧術）を数多く実施しています。頸椎変性疾患に対しての手術も行っています。脳腫瘍に対しては、サイバーナイフ治療を行い、県内外を問わず患者さまを受け入れています。

神経内科は、脳血管障害に対する、薬物療法（内服・点滴）・高気圧酸素療法や神経難病に対しては、確定診断検査や合併症に対する治療を行っています。腎臓内科は、日常生活に援助が必要な透析患者さまが入院され、眼科は、白内障の手術を行っています。

私達スタッフは、看護師30名、看護助手4名です。日常の生活援助が看護の中心ですが、疾患の特徴からナースステーションには、モニター心電図が6台あり、24時間緊張の連続です。このような状況でも私達スタッフは、気軽に相談に応じられるように「声掛け・気配り・笑顔」を心掛けています。また急性期の対応はICLS（蘇生トレーニングコース）・ISLS（脳卒中初期診療コース）へ多くのスタッフが受講をして学習を重ねています。回復期は残存機能の評価（できる行為とできない行為）と活動範囲内でのリハビリの援助が重要であるため、医師・OT・PT・STや栄養科・ソーシャルワーカーとの連携をとっています。

現在病棟では、固定チームナーシング導入への取り組みを行っています。患者さまに責任と、継続した質の高い看護を提供するためです。看護部理念である「安全で、優しい看護」を今後も目指します。ご意見やご要望があれば、遠慮なくスタッフへお知らせください。



合唱オータムコンサート

広報委員 山西 貴久

去る9月10日(木)秋晴れの下、記念すべき第1回院内コンサートが開催されました。女性コーラスグループの「ハーモニーグリーン」によるオータムコンサートで、入院患者さまを中心に医療スタッフを含めた約70人が癒しの歌声に酔いしれました。

「ちいさい秋みつけた」「紅葉」「赤とんぼ」などアンコールを合わせ14曲を披露し、これから深まる秋の雰囲気をひと足先に感じることができました。また、曲によっては振り付けもあり、観客の間に入って一緒に歌ったりと楽しい時間を共有できたと思います。当院では今後も、様々な趣向を凝らしたコンサートを定期的に開催していきます。皆さま是非、足をお運び下さい。(P7の情報ステーションに次回コンサートのお知らせがあります。)



当院は平成20年11月1日に現在の地に新しい病院を建てて移転しました。円滑に運ばれた移転事業は多くの方々のご苦労とご協力があつてはじめて実現しました。このことにあらためて感謝致します。月日が過ぎるのは早いもので、それからもう1年が経とうとしています。

新しい建物に移ってから、病院の施設、機器が著しく充実されました。それとともに新しい診療体制が整備されて、私たち職員一同は、地域住民の皆様から、より一層信頼されるような病院作りに励んできました。各病棟および外来に設置してある「ふれあい箱」に頂くご意見の数が、新病院に移転してからは目立つて増えています。皆さまから頂いたご意見には必ず目を通して、担当の委員会でそれぞれ検討したうえで、

病院長 瀬川 昇生
1年が経ちました。



改善出来ることは取り入れ、正さなければならぬことは職員に周知しています。またうれしいことに「ふれあい箱」に頂くお言葉の中には提言や苦言ばかりでなく、毎月必ず何かのお礼の文書も入っています。それだけこの病院のことは、地域の皆様から関心を持つて頂けるようになつたものと私どもは感謝しています。

現在、各地域で中核的医療を担つてきた公的病院では、医師、看護師の不足などにより診療科の閉鎖が相次いで起きるなど、病院経営は非常に厳しい環境にあります。私どもの病院の現在おかれている立場も例外ではありません。当院の場合はすべて自力で経営を行い、問題を解決してゆく必要があります。私どもはこれからなお一層の努力をして、地域に密着していく、周りから信頼して頂ける病院づくりに励みたいと考えています。地域のみなさまの支えが病院の拠りどころであります。そのうえで、地域の人々に守り育てられる病院になろうと考えています。よろしくお力添えをお願い致します。

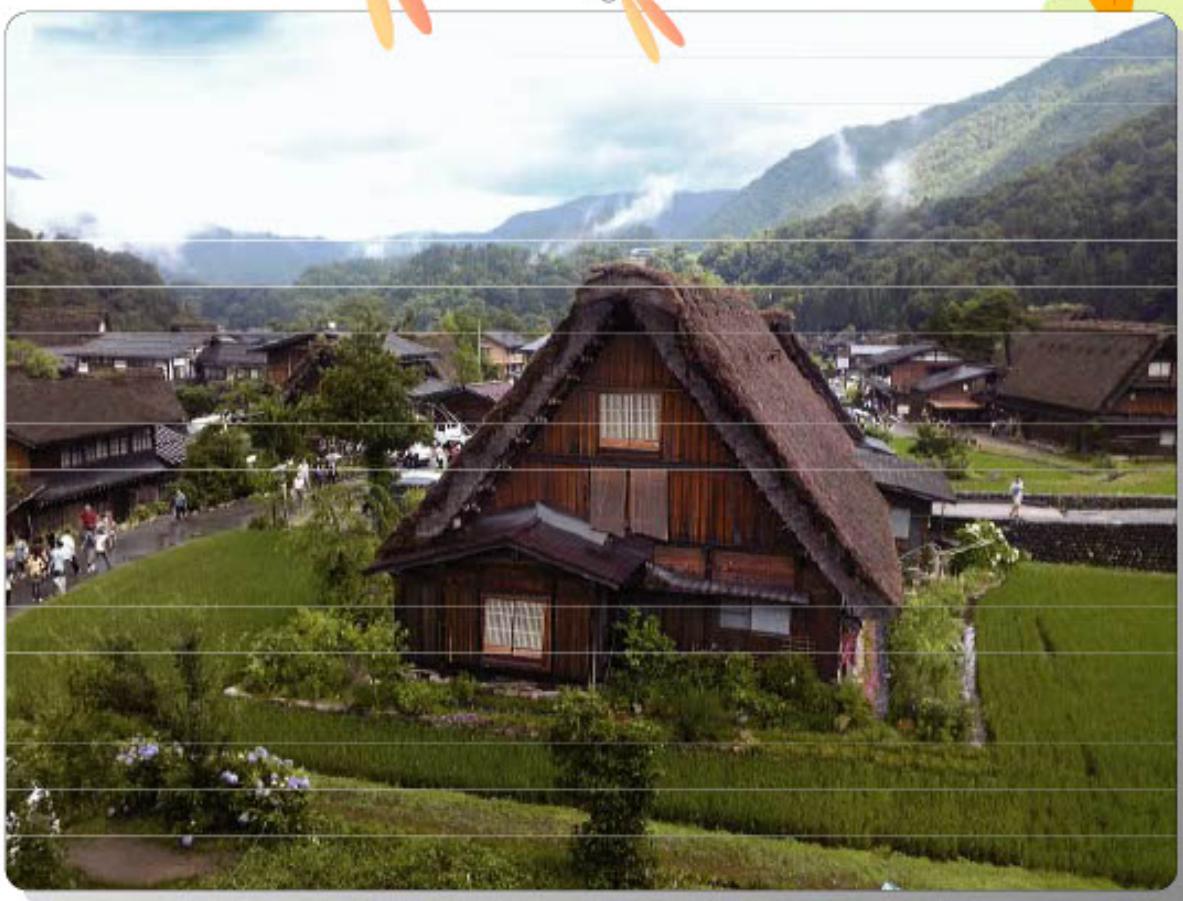


遊びの広場

まちがいさがし

白川郷 五箇山

7つの間違いをあててね!
●答えは8ページをご覧下さい。



情報ステーション

院内コンサートのお知らせ

第2回 RAKUDAチャイムクワイアによる
**トーンチャイム
クリスマスコンサート**

日時 平成21年12月12日(土)
午後1時30分~(50分くらい)

場所 1階 外来ホール

参加 無料

第15回 公開講座 講演会のお知らせ

テーマ

アレルギー性鼻炎の予防と治療
～花粉に負けるな!!～

講師 耳鼻咽喉科 部長 種田 泉 医師

日時 平成22年2月20日(土)
午後1時30分~2時30分

場所 総合青山病院 5階 講義室

参加 無料



※座席に限りがありますので事前の申し込みが必要です。(詳細は後日お知らせします)

新型インフルエンザについて

主な症状

- ・38℃以上の発熱がある
- ・咳が出る
- ・頭痛がする
- ・喉や関節の痛み

左記の症状がある方は、早めに医療機関へ受診して下さい。

予防方法

- ・マスクをする
- ・手洗いをする
- ・うがいをする
- ・栄養・睡眠を十分にとる

自己防衛に努めましょう !!

NEW FACE

外科 部長
わたなべ ともひと
渡邊 智仁 医師
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会認定医

平成21年9月より着任致しました。腹腔下手術を中心とする患者様の負担を少なくする手術に力を入れたいと思っております。

【経歴】

- ・昭和59年 3月 堀川医科大学 卒業
- ・昭和59年 6月 北海道大学医学部附属病院 麻酔科
- ・昭和59年12月 堀川医科大学医学部附属病院 第二外科
- ・昭和60年 6月 国立療養所道北病院 外科
- ・昭和62年 6月 名古屋第一赤十字病院 外科
- ・平成元年 6月 名古屋大学医学部附属病院 第一外科
- ・平成3年 6月 萩原厚生連高山久美愛病院 外科
- ・平成6年 6月 相模災生病院 外科
- ・平成7年 9月 上飯田第一病院 外科
- ・平成10年 6月 山口病院 外科
- ・平成13年 7月 小山田記念温湿度病院 外科
- ・平成16年10月 大塚中央病院 (名大の医療派遣) 外科
- ・平成20年 1月 東海記念病院 外科

ふれあい箱の回答

たくさんの方の意見ありがとうございます。

- 患者が実質家庭に帰って正常生活ができない中、退院させて通院させるという形態はいかがなものか。医療機関として考えてもらいたい。



回答

退院に際し不安な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。退院の時期は患者さまの病状に合わせて医師が判断しております。このような時は、病棟の看護師にお気軽にお声を掛けて下さい。また、当院には医療相談員が皆様の不安や悩みをサポートしております。是非ご相談ください。
よりよい解決方法と一緒に考えてていきます。

- 休日用の駐車場が欲しい(離れすぎ)。晴れの日はよいが雨の日など大変そう。入口と駐車場を近くに!

回答

夜間救急入口の前に駐車場をご用意致しております。休日・夜間はこちらの駐車場をご利用頂ければ入口から近くで便利です。よろしくお願いします。

回答

会計のアナウンスですが、名前を呼ばれてもトイレ等に行っていて聞き逃してしまう。2度位呼んでほしいです。いつもなので待ちくたびれます。
ご意見ありがとうございました。今後、会計のアナウンスは一度お呼びしましたら時間を少しあけてもう一度お名前をお呼び致します。もしもご不明の場合はスタッフにお尋ね下さいますようお願いいたします。

遊びの広場の解答



病院の理念

患者さま側に立った全人的医療を目指します

基本方針

地域の中核病院として安全で質の高い医療に努めます
患者さまが安心出来るゆきとどいた診療を提供します
患者さまに信頼されるゆきとどいた看護を提供します
患者さまに満足されるゆきとどいたサービスを提供します
患者さまがやすらげる快適な環境を提供します

患者さまの権利

- 適切で質の良い医療を受ける権利を有します
- ご自分の医療の内容について知る権利と説明を受ける権利を有します
- ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します
- ご自分の医療について他の医師の意見を聞く権利を有します
- 人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します
- ご自分の診療録の開示を求める権利を有します

今回のふれあい3号はいかがでしたか？

病院長の記事にもある通り、早いもので移転してから1年が過ぎようとしています。本当にあっという間の1年でした。その間、アメリカで「CHANGE」をスローガンとしたオバマ大統領が誕生し、また日本でも自民党から民主党へ政権交代したことでの何かが変わろうとしています。この流れに乗って、患者さまや地域の皆さんによりよい医療を提供できるよう、当院も更に「CHANGE」していきたいと思います。

編集後記

